

粉じん発生施設の概要(その1)

		区分 既・新・増・変		
		※備考		
施設の設置	着工予定(設置)年月日	年 月 日	年 月 日	
	使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日	
施設の構造及び使用の方法	粉じん発生施設の種類			
	名称及び型式			
	規模	原料の処理能力(t/日)、面積(m ²)又は堆積能力(t)		
		炉室数、ベルト幅(cm)、バケット内容積(%)又は運搬能力(t/時)		
		炭化時間(h)、原動機の定格出力(kw)又は処理能力(t/時)		
	1日の使用時間			
	1月の使用日数			
季節変動等				
処理の方法	処理施設の種類			
	処理施設の名称及び型式			
	効率又は処理施設能力			
	原動機出力(Kw)散水量(L/t)又は散水の方法			
	防じんカバーの設置状況			
	その他処理方法			
排出口から敷地境界線までの最短水平距離(m)				
施設から発生する廃棄物の種類及び処理の方法				
大気汚染が著しいときの措置の方法				
添付書類	1 粉じんの排出及び処理作業の系統概要説明書 2 粉じんの量に関する説明書 3 粉じんの発生施設及び処理施設の構造概要図及び設置場所を示す図面 4 工場等の敷地内における粉じん発生施設の配置図			

- 備考1 ※印欄には、記入しないこと。
- 2 新設の申請にあつては、着工予定年月日を、既設の申請にあつては設置年月日を記入すること。
 - 3 既設の申請にあつては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。
 - 4 堆積場の場合、名称及び型式の欄には、堆積物の種類、比重、粉度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記入すること。
 - 5 原動機出力若しくは方法若しくは散水量の欄には、実施の量(たとえば散水の場合には、水量1t/時)、実施頻度を記載すること。
 - 6 その他、処理方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する装置について記入すること。
 - 7 用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除いて、日本産業規格A列4番とすること。